



姉水

発行所
滋賀県長浜市宮部町 2410
滋賀県立虎姫高等学校内

姉水会

〒529-0112
TEL 虎姫 0749-73-3055(代)

印刷 株式会社サラト



新しい虎高にご支援を
姉水会会長 大塚 敬一郎

2年後の2020年は東京オリンピックイヤー。それは、我が虎姫高校がいよいよ100歳の誕生日を迎える年でもあります。

昨年末から、姉水会・

PTA・振興会・学校評議員・教職員の代表の方々にお集まりいただき、「創立100周年記念事業準備委員会」の設立に向けて進めてまいりましたが、平成30年3月、正式に立ち上げることができました。百周年の記念事業としては、一昨年の総会で採択されたセミナーハウス新築推進に加え、今回新たに「モノだけでなくコトを」という視点で生徒への奨学金制度が候補として挙がってきています。

虎高は平成24年、文科省よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定校に認定されています。SSHとは、高等学校等において先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との連携や国際性を育むための取り組みを推進し、さらに、創造性や独創性を高める指導方法を教材の開発等にも取り組むという、将来の科学者や技術者を育成するためのプログラムです。滋賀県の県立学校では膳所高・彦根東高と虎高の3校のみが指定されています。

また虎高は、昨年、国際バカロレア（IB）候補校の承認を受け、本年度中に公立高校では関西で初めてIB校に認定される予定です。IBはその目的を、より良い平和な世界を築くために貢献する人材育成としており、これからのグローバル社会に必要なコミュニケーション能力を備え、活躍できる資質と能力を持った人材を育てるために文科省が推進しています。教育プログラムの特徴としては、単に勉強ができる人ではなく社会に出て世界で働く人を想定しています。世界140以上の国・地域において4,846校が認定を受けていますが、虎姫高校が目指すDP（ディプロマプログラム）については、日本でも認定を受けた高校は33校しかありません。

このように、我々の虎高はさらに前進しようとしていきます。100歳からの新しい一歩を世界に向かって踏み出す虎高発展のために、皆様の温かいご支援をこれからもよろしくお願いします。

創立100周年記念版名簿発行のお知らせ

本年4月より、会員の皆様には名簿掲載内容の確認はがきや名簿購入の案内状を送信して作業を進めております。ご返信、ご予約がまだの方は、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

名簿の内容 平成31年1月下旬発行
A4判 4,500円

お問い合わせ先 0120-803-428
(受付№ 190110)
9:30~16:00 (土日祝を除く)

〈名簿作成委託先〉
この名簿作成は、正式な同窓会事業として、プライバシーマーク取得の株式会社サラト(兵庫県姫路市)に委託しております。

お帰りなさい虎高へ

平成30年度

「姉水会」総会のご案内

期 日 平成30年7月29日(日)
日 程 (理事会 15:00~15:30)
総 会 16:00~17:00
懇親会 17:20~
場 所 ホテル&リゾート長浜
(旧:長浜ロイヤルホテル)
長浜市大島町38
TEL 0749-64-2000
懇親会 場所: 総会会場
(ホテル&リゾート長浜)
会費: 8,000円

※ご参加いただける方は、7月23日(月)までに下記の姉水会事務局へご連絡ください。総会あるいは懇親会のみでの参加でも結構です。

姉水会事務局
TEL 0749-73-3055 (虎姫高校)
FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)
メールアドレス
torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp

※FAX・メールの場合は確認用連絡先を明記してください。
※ご遠方の方は29日晚の宿泊のご希望も承ります。お気軽に事務局までお申し出ください。

還暦の同窓会

平成三〇年一月三日(水)に北ビワコホテル グラツイエで、二八回生の同窓会を開催しました。恩師の先生四名を含め総勢七五名が参加しました。七年ぶりの同窓会で、六〇歳という節目の年の開催でした。記念写真撮影↓開

日東第一だより

会(辻) ↓黙禱(澤藤先生、大浜先生、北村先生、同窓生二二名) ↓乾杯(生徒会長二組田村君) ↓歓談↓恩師の先生のお言葉、花束贈呈↓校歌斉唱↓閉会(一組河瀬君)と進行しました。七年前は立食パーティー形式でしたが、歳のことも考慮して席を用意していただき、ゆっくりとしかも楽に歓談することができました。同窓会を企画するにあたり、(株)サト様へ依頼し、案内発送、進行の手順、当日の集金まですべてお任せすることができ、幹事としては大変助かりました。二八回生用ホームページも作っていただき、そこには懐かしいアルバム写真も掲載されており、最新の出席者名簿、さらには会員コメントまで載せることができ、ホームページ上で近況を伝え合うこともできました。

会は、始まる前から懐かしい友人との会話が始まり、終始なごやかに進みました。恩師の先生がおっしゃっていましたが、教え子が六〇歳になると同僚のように見えるそうです。たしかに私たちから見ても先生方も同じ年代に見えました。この状況も一興だと思いましたが私たちがすれば一番の思い出になる、富士山

登山と北海道修学旅行の裏話を先

生方から聞くことができました。当時学年主任であった澤藤先生が、「日本」を目指す学年にし、とおっしゃり、日本一高い山に、いつか行ってみたいことのない修学旅行先を考えられたそうです。修学旅行に関しては、私たちの前までは九州で、翌年から九州が続いていまして、列車と青函連絡船を利用した北海道旅行がいかにか画期的であったかわかります。生徒思いの先生方に改めて感謝いたします。



七年前は二次会を企画せず、その場で急遽別会場を予約しましたが、今回は同じホテル内であらかじめ予定していたため、参加者も多かったと思います。どれだけ時間をとってもしっかり話が終わらない、それが同窓会ではないでしょうか。

この紙面をお借りして二八回生のみなさんにお伝えします。次回の幹事を決めるのを忘れておりました。したがって、再度私が幹事を務めさせていただきます。ご了承いただきたいと思えます。我が母校は二〇二〇年に一〇〇周年を迎えます。その年とはいきませんが、五年以内には三回目の同窓会を開催したいと思えます。五年後もみなさんが元気であることを心からお祈りいたします。

(文責 三年五組 辻 浩)

高40回クラス同窓会報告

一昨年の8月13日に、長浜市内のびわこレス トラン ROKUにおいて、高校第40回3年4組でのクラス同窓会を、恩師である吉田忠泰先生(当時のあだ名は「忠やん」)をお迎えし和やかに開催しました。

私たちの当時のクラスは、吉田先生のお人柄がそのまま反映されたような「仲の良い」クラスで、お盆の時期の呼びかけにもかかわらず、当日は男女計22名の教え子の出席が叶いました。卒業以来30年の年月が流れていますが、出席した皆さんは予想以上に当時の面影を残しており、昔の思い出話で大いに盛り上がり、旧交を温めることが出来ました。

最後に吉田先生から「私の教え子は全て自分の子供と同じ。皆とても可愛い。」を仰っていただいたことが涙が出るほどうれしかったです。次の機会(出来れば吉田先生のご退職の時あたり)に、今回より多くの出席で再会を!と約束し、解散後は2次会へと続いて行きました。



出席いただきました吉田先生に感謝申し上げます。同窓生の皆さんの益々のご活躍を祈念して、年を跨いでの報告いたします。

(文責 山口糸代世)

第68回生学年同窓会

平成30年1月8日、リネアにて第68回生の学年同窓会を開催しました。同窓生は140名以上、先生方は5名の参加となりましたので、とても人数の多い同窓会となり、大変盛況でした。

吉田先生の挨拶と乾杯により会が始まり、近況報告や大学での勉強の話、将来の夢の話をし、盛り上がりました。成人式を迎えたこともあり、未熟だった高校生の時とは違う、スーツやドレスを着た姿を友人または先生方に見せることができ、とても喜ばしく感じました。また苦楽を共にした友達同士で会話をしていると高校時代の思い出がよみがえり、友達がいたおかげで今の自分がいることを再確認しました。



68回生の皆さん、多くの参加をしていただきありがとうございます。また同窓生と話すという楽しい時間を共に過ごせたことを幹事一同感謝しています。今後ともそれぞれの道を歩み、より一層成長した姿でお会いできる日を楽しみにしています。本当にありがとうございます。

平成29年度 「姉水会総会」報告

平成29年度姉水会総会は、昨年7月30日(日)16時00分より「長浜ロイヤルホテル」にて開催されました。当日は約90名の方にご参加いただくことができました。

総会は、おたくなりになった諸先輩方への黙祷から始まり、大塚敬一郎姉水会会長(高17)、虎姫高校三上保彦校長(高29)にご挨拶いただきました。そして、副会長のご紹介と「東京姉水会」から頂戴しましたお祝い金のご披露のあと、議事に入るとあたり、議長に関谷松男姉水会副会長(高20)を選出しいただきました。関谷議長



の議事進行で、まず協議事項一・二として「平成28年度事業報告」と「平成28年度決算報告・監査報告」が満場の拍手で承認されました。

次に協議事項三として、虎姫高校三上保彦校長より「虎姫高校創立百周年に向けて」が提案・報告されました。母校である虎姫高校は2020年(平成32年)に創立百周年を迎えます。東京オリンピックが開催される同じ年に百周年を迎えるのも感慨深いものがありますが、その百周年に向けて、平成29年度中に準備委員会を発足させたいとの内容でした。あわせて、その準備委員会の母体として虎姫高校の同窓会である「姉水会」には大きな役割をお願いしたいとのことでした。また、百周年に向けて平成28年度より宮島正典姉水会副会長(高37)に委員長をお願いした制服委員会

学の73回生から採用され、平成32年の百周年時には3学年とも新しい制服で揃う予定とのことでした。この



「虎姫高校創立百周年に向けて」の提案・報告も満場の拍手で承認されました。準備委員会は、大塚敬一郎姉水会会長を準備委員長にお願いし、虎姫高校PTA・虎姫高校教育振興会、虎姫高校歴代校長など虎姫高校の関係者をメンバーとし、平成30年3月20日(火)第1回準備委員会が無事開催されましたことを付け加えさせていただきます。

以上の協議事項とその他・連絡事項を含め、総会は16時40分頃に無事終了しました。

その後休憩をはさんで、第二部として、長浜市市民協働部次長の太田浩司様に「長浜曳山祭の特徴とユネスコ登録」長浜曳山まつり「東京公演」を終えて」と題してご講演をいただきました。

17時30分頃より、第三部として、懇親会がスタートしました。お酒や食事が進むにつれて、卒業年度の近いもの同士が着席したテーブルから、高校時代の思い出話や共通の恩師の話などがたくさん聞かれました。会員のアピールタイムでは、遠方よりご参加いただいた方の挨拶や歌も披露され、大きな盛り上がりとなりました。中締めには、懇親会恒例の虎姫高校校歌「日東第一」を全員で肩を組んで合唱し、次年度の総会での再会を約束してお開きとなりました。

【事務局】

○平成29年度総会・懇親会にご参加いただきありがとうございました。

(高3)長谷川隆男(高12)速水洋和(高13)清水利展(高14)村田 洋(高15)笹原那智子、鈴木正信、富田敏之、中川安之、西坂重和、村田宣雄、高16野田藤雄(高17)大塚敬一郎、辻 文雄、橋本圭祐、川越清孝、長谷部美恵子、金田千秋、金澤美都子、影山千恵乃(高18)本城善男、速水敏行、伊藤光男、大

橋香代子(高19)相村光喜、月ヶ瀬義雄(高20)関谷松男(高22)中川 勇、中村喜隆(高23)西嶋



栄治、橋本祐昌、中西康雄、前田恵子、布施隆治(高25)平井正公(高26)坂井久泰、狩野謙一、大塚良彦、上松俊彦(高27)伏木直之、藤居 毅(高28)鈴木富美代、沢田昌宏、大橋通伸、虎頭良裕(高29)高橋滝治郎、三上保彦(高30)押谷洋子(高31)横山和司、清水金幸、北川あさ子(高32)水上敏彦、梅本剛雄、杉澤和雄、川村好典、河下太勇、篠宮寿夫(高33)河崎幸一(高34)清水順二、岩崎俊裕(高35)吉田佳司(高36)中澤成行、上野賢一郎、吉田晴洋、田濃良和(高37)宮島正典、小西和哉、南部康弘(高38)高田武治、茂森勇人、塚田 豊、菅原信章(高40)浅見勝也、山路 進(高42)川島隆二、鈴木泰子(高43)川瀬千津(高46)阿閉順子、塚田陵子、杉本智子(高49)多賀通子、宮部睦美(高51)田中和宏(高53)澤村祥太(高58)川村洋輔(高60)宮田崇弘(高63)徳原真也、富岡奈央(講師)太田浩司(ケスト)堀 浩治

記念講演

長浜曳山祭の特徴とユネスコ登録 〜長浜曳山まつり「東京公演」を終えて〜

長浜市 市民協働部 学芸専門監 太田 浩司

1 はじめに
・祭には神事が強いオコナイ、灯明祭、野神などがあり、一方で芸能性が強い曳山祭や太鼓踊りがある。湖北(長浜市・米原市)は、両方とも県下では盛んな地域である。
・湖北の伝統芸能を類型化すると、①山車(曳山)祭、②太鼓踊り、③行列や練り、④火祭りに大別でき

きる。
・今回の講演では、湖北を代表する伝統芸能である①の内、長浜曳山祭の特徴・歴史、それに昨年十二月一日、「ユネスコ無形文化遺産」に登録された意味を考える。
2 長浜曳山祭の起源と歴史
・昨年十二月一日に「ユネスコ無形文化遺産」に登録され、世界で認められた祭となったことは重要である。登録された三三件の「山・鉦・屋台行事」の中でも、数少ない芸山(山の上で歌舞伎や歌舞を行う)である。
・一方で、長浜曳山祭の芸山の形式が、北陸の小松・砺波・小矢部、丹後地方(峰山・加悦・伊根)、西美濃の揖斐川・垂井・室原、三重県いなべ市(藤原町)坂本まで伝播していった。広域に広がる芸山文化を長浜曳山祭が形成した。現在の三役修業塾も、周辺の地歌舞伎へ義太夫・三味線を派遣している。
・大正十一年(一九二二)の木之本浄信寺玉垣竣工時に行なわれた「延命山」での『太閤記十段目』の写真が残っており、木之本宿にも三其の曳山があり、子ども歌舞伎も演じられていた。村落部を含めた湖北での広範な曳山文化の伝播がある。
・江戸時代以来行われている。また、囃子(しゃぎり)や三役(振付・義太夫・三味線)は、江戸時代以来、周辺の村落部の大人が担っていた。城下町・在郷町であった長浜町の祭礼ではあるが、周辺の村落部にも影響を与え、支えられた祭であった。
・近代における振付は、東京とのつながりがある者、東海地方の地芝居専門集団の出身者などから構成され、中央とは違う独自の芸能圏を形成してきた。
・丹生茶わん祭は曳山の一類型だが、その起源は中世以前に遡り、またその形態も「からくり山」である。長浜曳山祭の伝播とは、別の文化形成を考える必要がある。
イ)曳山祭の起源
・寛文六年(一六六六)『江州湖東八幡宮勸請并二祭礼ノ由来』によれば、長浜城主となった秀吉が、石清水八幡宮勸請の期日にならい、九月十五日を祭礼日と決め、武者行列を行なったのが起源

とある。
 ・その後、太刀渡り(武者行列)は十人衆へ引き継がれ、さらに小舟町に引き継がれた。長刀山小舟町組は、これ以来、長浜祭において親郷の地位を得る。

・祭はその後、建物が出され、曳馬もあり、さらには各町から歩行渡り、曳山が盛んに出されるようになる。

・『江州湖東八幡宮勧請并二祭礼ノ由来』の類書で、元禄二年(一六八九)に追記を行なった写本に、初めて秀吉に子どもが生まれたので、各町へ砂金を配り、それを元手に曳山が建造された話が出て来る。

・練物から曳山へが基本。十七世紀後半〜十八世紀前半に芸山(何らかの芸能が行われる)が登場、十八世紀中期までには現在の曳山と同形態の山が建造される(子ども歌舞伎が演じられるようになる)。さらに十九世紀前半に各山に亭が増築される。

ウ)曳山祭の祭礼日について

・長浜曳山祭が成立する以前に、『坂田郡八幡宮の祭礼が存在した。』永正二年(一五〇五)の「八幡庄四月祭礼置文」(長浜八幡宮文書)によれば、春祭の十二ヶ条を取り決めている。文政四年(一八二一)の「近江国長浜八幡宮碑陰記」によれば、四月三日の祭礼で坂田・浅井両郡の土豪が隊列を組んで、神輿を警護する祭とある。↓八幡庄七郷の祭であった(長浜町はまだない)。

・江戸時代は秀吉が定めたと伝える九月十五日に行なわれた。明治六年のみ十一月四日に、明治七年以降は十月十五日に行われる。その後は、曳山が四月十五日、太刀渡りが十月十五日と分かれて行った時期もあるが、昭和三年からは両行事とも四月十五日に行われる。

エ)出番山の変遷

・元文三年(一七三八)成立の『長浜記』によれば、長浜曳山祭の山組は、本来川南と川北に分かれており、隔年で先番・後番となった。川南の①宮町組・②瀬田町組・③田町組・④舟町組は、先番の時はクジを取ることもなく、①〜④の順で巡行した(明治五年まで)。川北は毎年、クジで順番を決めた。小舟町組太刀渡は、江戸初期には川

南の町組の先頭を行った(元文三年より八十年前までは)。

・明治十九年 十二基出場【六基交代】/明治二十七年〜大正六年【十二基出場】/大正七年【出場なし(第一次世界大戦)】/昭和八年〜昭和十一年【六基交代】/昭和十二年〜二十四年【出場なし(日中戦争、第二次世界大戦)】/昭和二十五年〜二十八年【三基交代】/昭和二十九年〜【四基交代】

オ)江戸時代の曳山祭の状況

・文化十四年(一八一七)の『青海山祭礼定規書』では、狂言台本の文字数を三三〇〇字に規定している。↓演目の時間短縮が大きな課題であった。同じく青海山北町組の記録によれば、安永五年(一七七六)の曳山祭は、翌朝にまで及んだという。

・文化三年(一八〇四)の『長浜九月祭礼之儀二付願上書(心酔亭用留)』によれば、通常の儉約を誓約しつつも、曳山祭への出店や宿泊客の増加による経済的効果を町年寄たちが強く意識していることが分かる。

・『外題帳添書』によれば、豊作か凶作で祭当日の人数が異なった。また、彦根藩主やその親族が度々上覧した。

カ)小舟町組太刀渡りの古様

・現在の太刀渡りは男児十人が甲冑をつけ、神木で作った六・七尺の太刀を佩く。江戸末期の刷物『江州長浜御祭礼長刀行列次第』では、青年が子どもを従え、背に幟と繻花状の母衣を立てている。おそろく、これが古様だろう。

・湖北町速水の八朔大祭・幡母衣武者行列は、太刀渡りの古様に近い。

キ)速水伊豆神社八朔大祭・幡母衣武者行列

・伊豆神社の伝えでは、「仲哀天皇が熊襲親征の時、戦勝を祈願したところ勝利を得たため、当社に戦勝を報告されたことが起源」とする。その発祥は不明だが、長浜曳山祭長刀山太刀渡りとの関連を考慮に入れる必要がある。

・若者が鎧をまとい背に四八本に割った竹先に提灯をつけ、幟を立てた母衣を背負い速水内を練り歩き神社に参拝する行事である。

・大正時代まで九月一日の八朔大祭・書物神輿も行なわれる(の)の行事として、毎年行なわれてきた

が、戦中・戦後は途絶えていた。昭和六二年から復活し、平成二十年も催行された。「人除け」と呼ばれる大きな造物をするのも特徴。

・平成二十九年十月二十九日の「日本の祭り」などは、2016年でも、長浜駅前通りのレッドカーペット上で披露された。

3 ユネスコ「無形文化遺産」

ア)ユネスコとは?

・「国際連合教育科学文化機関」のことで、英語での表記は「United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization」(略して「UNESCO」となる。教育・科学・文化を通して各国の人びとが互いに理解を深め、世界平和を実現することを目的とした国際連合の専門機関の一つ。フランスのパリに本部があり、日本は昭和二十六年に加盟した。そのユネスコが行なう文化(自然)遺産事業として、世界遺産(文化・自然・複合、一〇五二件)・無形文化遺産(三二四件)、それに世界の記憶(旧名・記憶遺産、四二六件)があり、「ユネスコ三大遺産事業」と言われる。

イ)「山鉾・屋台行事」の登録

・昨年十一月三十日(日本時間 十二月一日未明)、エチオピアの首都アディスアベバで開かれたユネスコの政府間委員会は、日本が「無形文化遺産」に提案していた「山鉾・屋台行事」の登録を決定した。

・日本の登録は平成二六年の「和紙」以来二年ぶりで、国内の「無形文化遺産」は計二一件となる。他に、国内の「無形文化遺産」としては、「能楽」・「歌舞伎」などが登録されている。

・山鉾・屋台行事は、「長浜曳山祭の曳山行事」をはじめ、地域の安泰や厄よけを願う全国十八府県の祭礼行事計三三三件で構成。迎えた神をにぎやかに慰撫するため、木工や漆塗り、染め物といった伝統工芸で華やかに飾り付けた山車などの造形物が街を巡るのが特徴である。いずれも国の重要無形民俗文化財に指定されている。

・ユネスコ政府間委員会は決議文で、三三三件の祭りが「伝承者や実践者である地域住民にアイデンティティーや芸術的創造性を与える」と評価。芸術的多様性と創造性の例であると、「無形文化遺産」の基準を満たすと結論付けた。

が、戦中・戦後は途絶えていた。昭和六二年から復活し、平成二十年も催行された。「人除け」と呼ばれる大きな造物をするのも特徴。

ウ)無形文化遺産の特徴

・ユネスコ「無形文化遺産の保護に関する条約」(平成十八年発効)を唱導すれば、「無形文化遺産」は単なる過去の遺産ではなく、人が体現することによって、初めて存在するもの。ただ、保存するのではなく、創造の源泉になるものであり、それを保持しているコミュニティを保護する必要がある文化財と言える。

・背景には全世界における「文化の多様性」の思想があり、「素晴らしいもの」を選び出すのではなく、「世界の文化は多様なもの」で、その総体が素晴らしいものであるとの考え方に立脚している。

4 まとめ

・伝統芸能は時代によって変化していくものである。変化していくからこそ残っていく。昔の形態は記録保存すればよい。伝統とは「変化しない」のではなく、「変化」してこそ保存・継承されていくのである。

・ユネスコ遺産事業は、文化財の事実上のランク付けになる。しかし、一過性の盛り上がり終わることが危惧される。持続的な遺産・文化財保護への国民意識の向上と、行政としての支援体制のあり方が求められる。

・話題性はあるが一過性である「登録」や「選定」事業からの転換が必要であろう。遺産や文化財を活用しつつ如何に持続的に守る体制を構築するかを注ぐべき(財源、人材、保存団体など)↓平成二九年度から長浜市が本格的に策定に取り組んでいる。長浜市歴史文化基本構想は、その方向性を示すものとなる。

・伝承される芸能(歴史)がなくなったら、長浜市が長浜市でなくなってしまう。危機感を抱いている。



虎姫高校は国際バカロレア (IB) 候補校です

本校は2017年3月1日に、国際バカロレア (IB) ディプロマ・プログラム (DP) の候補校として正式に承認され、現在、IBワールドスクール (IB認定校) としての認定に向けた申請段階にあります。IBワールドスクールは、質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組むという理念を共有する学校です。本校創立100周年を迎える2020年度スタートを目指しています。

★ 国際バカロレア (IB) とは？

IB機構 (本部ジュネーブ) が提供する世界水準の教育プログラムです。年齢に応じ、PYP (3~12歳)、MYP (11~16歳)、DP (16~19歳) の3つのプログラムがあり、虎姫高校ではDPを実施する予定です。DP資格試験のための統一試験に合格することで、国際的に認められている大学入学資格であるIB資格を取得することができます。

★ こんな人を目指します

探究する人 知識のある人 考える人
コミュニケーションができる人 信念をもつ人
心を開く人 思いやりのある人 挑戦する人
バランスのとれた人 振り返りができる人
(国際バカロレア10の学習者像より)

★ どんな授業が行われるの？

IBの授業は、教師が一方向的に講義をするのではなく、話し合いを通して学びを深めていきます。虎姫高校では1学年20名程度のIBコース (仮称) を設け、1年3学期から約2年間、6つの科目を中心に学びます。そのうち2科目は英語による授業を受けます。

★ IBに対応した大学入試はどうなるの？

IB資格で受験できるのは、海外2千以上の大学です。また、それだけではなく、国内においてもIB資格を活かした受験ができる大学が増加中です。
(例：東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学、筑波大学、名古屋大学、金沢大学、広島大学、岡山大学等) 文部科学省は、IB資格の積極的な活用を推奨しています。

※虎姫高校はIBDP候補校です。ディプロマ・プログラム (DP) を実施できるのは国際バカロレア機構に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。

虎姫高校ではグローバルな視点を大切に、
課題探究や自己表現を重視した
授業改善に取り組んでいます。



海外の大学へ
進学したい人！

探究するのが
好きな人！

可能性を
広げたい人！

意見を言えるように
なりたい人！

新しいことに
挑戦したい人！

SSH事業は 7年目です

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業に取り組み、すべての生徒に3つの力 (探究力・表現力・協働力) と2つの態度 (主体的な態度・科学的な態度) を養い、将来の科学者や、科学技術を支える市民を育てています。

進路状況

● 現役合格延人数

種別	平成28年3月卒	平成29年3月卒	平成30年3月卒	
卒業者数	197	234	233	
大学	国公立大学	80	76	93
	私立大学	368	442	464
	計	448	518	557
短大	公立短大	0	0	0
	私立短大	1	5	0
専修学校等	10	9	12	
就職	公務員等	0	0	1

● 大学合格状況

【国公立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	平成28.3卒	平成29.3卒	平成30.3卒
北海道大	0(0)	0(0)	2(1)
東北大	1(1)	0(0)	0(0)
お茶の水女子大	0(0)	1(0)	0(0)
東京芸術大	1(0)	0(0)	0(0)
横浜国立大	0(0)	0(0)	1(0)
富山大	3(1)	0(0)	4(0)
金沢大	4(0)	6(1)	13(0)
福井大	4(1)	4(1)	6(3)
信州大	0(0)	0(0)	3(1)
岐阜大	6(0)	3(0)	3(1)
静岡大	4(0)	5(0)	3(1)
名古屋大	2(0)	2(1)	2(1)
名古屋工大	4(0)	1(0)	0(0)
三重大	2(0)	3(0)	1(0)
滋賀大	7(0)	8(0)	9(1)
滋賀医大	1(0)	1(0)	2(0)

大学名	平成28.3卒	平成29.3卒	平成30.3卒
京大	0(0)	1(1)	1(0)
京都教育大	1(0)	1(1)	1(0)
京都工芸繊維大	0(0)	1(0)	3(0)
大阪大	1(1)	0(0)	1(0)
大阪教育大	1(0)	0(0)	1(0)
奈良女子大	2(0)	2(0)	0(0)
神戸大	0(0)	2(2)	3(1)
鳥取大	4(0)	3(0)	1(0)
島根大	0(0)	0(0)	1(0)
岡山大	2(0)	0(0)	3(0)
広島大	2(0)	5(1)	3(0)
徳島大	0(0)	0(0)	2(1)
高知大	0(0)	0(0)	2(0)
長崎大	0(0)	0(0)	1(0)
国立大学計	62(5)	62(9)	73(12)



大学名	平成28.3卒	平成29.3卒	平成30.3卒
国際教養大	1(0)	0(0)	0(0)
福井県立大	0(0)	1(0)	0(0)
名古屋市立大	1(0)	0(0)	1(0)
滋賀県立大	11(0)	12(0)	17(0)
大阪府立大	2(0)	2(0)	0(0)
兵庫県立大	1(0)	0(0)	3(1)
公立大計	24(1)	25(2)	35(3)
国公立大計	86(6)	87(11)	108(15)

再掲 国公立大学薬学部			
金沢大	0(0)	0(0)	1(0)
広島大	0(0)	0(0)	1(0)
静岡県立大	0(0)	0(0)	1(0)
名古屋市立大	1(0)	0(0)	0(0)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

【私立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	平成28.3卒	平成29.3卒	平成30.3卒
明治大	1(1)	3(1)	0(0)
中央大	3(0)	1(0)	0(0)
早稲田大	1(0)	4(1)	1(0)
南山大	1(0)	1(0)	0(0)
名城大	1(0)	3(0)	3(0)
京都産大	6(0)	21(0)	11(0)

大学名	平成28.3卒	平成29.3卒	平成30.3卒
京都女子大	12(0)	17(0)	20(1)
京都薬科大	2(1)	1(1)	2(1)
同志社大	14(4)	8(2)	10(5)
立命館大	77(11)	72(11)	73(8)
龍谷大	55(0)	61(2)	94(14)
関西大	26(8)	14(5)	8(2)

大学名	平成28.3卒	平成29.3卒	平成30.3卒
近畿大	12(0)	19(5)	35(6)
関西学院大	6(0)	6(0)	5(1)
私立大計	403(35)	487(45)	524(60)
私立大医学科	2(2)	1(1)	0(0)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

● 第70回生(平成30年3月卒)進学希望者数に対する合格率・進学率

		人数	合格率・進学率	
進学希望者数	A	232		
合格者数	B	205	合格率	B/A 88%
進学者数	C	201	進学率	C/A 87%
国公立大合格数	D	93	国公立大合格率	D/A 40%



今年度永年勤続表彰

母校に永年ご勤続いただき、後輩の教育にご尽力されている先生の労に対し、会長より感謝状と記念品が贈呈されます。

十年勤続
・岩崎 俊裕 先生
・松宮 敬広 先生

転入

教頭 大道敏喜雄
教諭 北川 敦子 (国語)
上杉 真代 (理科)
富岡 正臣 (英語)
北村 英仁 (社会)
坂根 貴裕 (数学)
林崎 徹 (英語)
臨時講師 新規採用

転出

副校長 河下 太勇 (校長)
教諭 中 沙規子 (社会)
信楽高等学校

退職

教諭 虎頭 良裕 (国語)
川口 健一 (理科)

平成30年度
職員人事異動 (敬称略)

